学習院大学新聞

発行所
学習院大学新聞社
〒171-8588東京都豊島区
目白　1丁目5番1号
電話 03（3986）0221内線2607
http://www-cc.gakushuin.ac.jp/~press/
press@gakushuin.ac.jp

発行・編集人　南波さやか
年間500円

芳林堂書店
BOOKS HORINDO
コミックプラザ 03-3984-0018
高田馬場店 03-3208-0241
所沢店 042-925-5505
所沢駅ビル店 042-925-5355
大井町店 03-3474-4946
祐天寺店 03-3792-2561
自由が丘店 03-5726-1560
関内店 045-681-0065
津田沼店 047-478-3737
西川口店 048-254-1131

紙面紹介

2 一味違う発表を
3 真夏の恐怖ガイド
4 ラクロス、大量得点

ちゃーさんのひとりごと

ついに今号で3年生が引退を迎えます。苦しかったこと、楽しかったこと、辛かったこと……。大学新聞社でのすべてのことがこの部室に詰まっています。3年のみんな、あと私も（笑）、本当にお疲れ様でした！（運）

次号（第191号）は、9月下旬発行です。
学習院大学新聞社

奨学金の採用状況

大学奨学金の採用率、100％

平成16年度の「学習院大学奨学金」および「日本学生支援機構（旧日本育英会）奨学金」の申請者・採用者数が発表された。文部科学省が発表した、全国の私立大学・昼間部の奨学金申請者に対する受給者割合の平均（平成14年度）が91％である中、「学習院大学奨学金」の採用率は昨年度95・8％、本年度100％である。この数字は相対的に見て、高い採用率であるといえよう。

本学には、本学独自で設置する様々な奨学金制度があるが、その中で採用者数が最も多いのは「学習院大学奨学金」だ。今年度の申請者数は174名で、採用率は100％。昨年度より申請者が減少したのは、貸与型の奨学金は将来その学生の負債となるため、安易に借りようとする人が減ったためと思われる。また、今年度より給付型の「学習院大学学費支援給付奨学金」が新設された。これは有資格者の中で家計困窮度の高い人に、人物評価を加味して給付されるものだ。給付型奨学金の導入は、ここ数年で奨学金制度の見直しを行い、学生からの要望に応えた形である。

「学習院大学奨学金」の採用率が高いのは、多少条件を満たしていなくても、例外的に貸与を認めるケースがあるためだ。一般的には奨学金を貸与する際、一定の家計基準や成績基準を満たすことが条件となる。だが、本学は経済援助・学業奨励をできる限り多くの学生に行う方針であるため採用率が高い。なお、6月の定期採用申請以外にも家庭状況の急変が認められる学生には、随時「緊急」「応急」貸与も行っている。

また、奨学金の窓口である学生部は、すべての学生が周知すべき点2つを呼びかけている。1つは「納付金延納願」の存在だ。これはやむを得ない事情があると認められた場合に限り、授業料などの延納を認めてもらうものである。奨学金申請者の中で何らかの理由により納付金を納めることができない学生は、この願書を納付期限の1週間前までに提出することで納入を奨学金決定まで延ばせる。

2つ目は「除籍」についてだ。これは授業料などの納付金を滞納し、督促を受けても納付しない場合に本学から籍が除かれるもの。学生部では除籍者を少なくするため、勉学の意志はあるが納付が困難という学生に、奨学金貸与や教育ローンの紹介などの相談を受け付けている。納付金のことで困難が生じた際は、早めに相談するとよいだろう。

そして貸与型奨学金は卒業・修了後に返還義務が生じるため、学生は奨学金の目的を理解し、返還のことも考えた上で申請することが求められる。

なお、本学学生の多くが利用する「日本学生支援機構（旧日本育英会）奨学金」の採用者数は表の通り。

「学習院大学奨学金」および「日本学生支援機構（旧日本育英会）奨学金」の申請・採用状況

	平成15年度				平成16年度			
	大学奨学金		日本育英会		大学奨学金		日本学生支援機構	
	申請数	採用数	申請数	採用数	申請数	採用数	申請数	採用数
法学部	45	43	101	79	42	42	96	71
経済学部	44	42	88	69	36	36	106	85
文学部	66	65	103	79	52	52	164	114
理学部	36	33	34	30	27	27	33	26
学部計	191	183	326	257	157	157	399	296
法学研究科	0	0	2	1	0	0	1	1
政治学研究科	0	0	4	2	0	0	0	0
経済学研究科	0	0	0	0	0	0	4	2
経営学研究科	1	1	8	3	0	0	0	0
人文科学研究科	5	5	67	35	1	1	41	29
自然科学研究科	5	2	13	7	4	4	21	15
大学院計	11	8	94	48	5	5	67	47
法科大学院					12	12	12	10
合計	202	191	420	305	174	174	478	353

本学で利用できる奨学金制度

区分	公募制	推薦制
貸与型	・学習院大学奨学金 ・実吉奨学金 ・日本学生支援機構（第一種・第二種）	
給付型	・学習院大学海外留学奨学金 ・学習院大学学費支援給付奨学金 ・学習院大学教育ローン金利助成奨学金	・入試成績優秀者給付奨学金 ・学習院大学学業優秀者給付奨学金 ・安倍能成記念教育基金奨学金 ・学習院末松奨学基金奨学金 ・関育英資金

※また、上記以外に財団法人・民間企業・地方公共団体奨学金があるが、これらの奨学金希望者は、年度始めに学生部に登録することになっている。

大学祭で4団体提携

今年度の大学祭より、大学祭実行委員会、学生相談所、学生放送局、大学新聞社の4つの団体の連携を強化する。来客が安心できる、また、全参加団体が充実した活動ができる大学祭を目指しており、より運営をスムーズにするためである。具体的には、迷子案内の徹底とアンケートの規模の拡大である。例年、開催期間中は、学生相談所が案内所の運営とパンフレット販売、学生放送局が迷子放送、大学新聞社が出店アンケートと参加団体の取材を行ってきた。

しかし、昨年度までは、迷子が出た際にどこで預かるかなどのやりとりで行き違いがあり、来客の安全面が徹底していなかった。また、出店アンケートの規模が小さいことも懸念されてきた。今年度は、そのような事態を打開するためにも、4団体の協力体制を整備する。

現在、4団体は迷子に関する連絡系統の取り決めと、アンケートの回収に関する事項を話し合っている。迷子対策については、迷子を発見した際、構内に数箇所ある案内所に知らせれば問題ないとしている。誘拐の心配もあるので、早急に案内所もしくは近くの大学祭実行委員会のスタッフまで連絡してもらうよう呼びかけていく方針だ。アンケートについては、学生相談所と大学新聞社が協力することで、調査母体の規模を拡大していく予定である。

五輪を彩るギリシャ神話

本学OBである長栄一さん原作のオペラ「ラビュリントス」が6月20日、百周年記念会館で上演された。これはギリシャ神話を題材にした作品であり、三笠宮も観覧された。ギリシャの美しさを思わせる見事な大道具と照明の中、話は進行。合唱と管弦楽は学習院輔仁会音楽部が担当し、オペラ歌手の華麗な歌声に華を添え、ギリシャ神話の世界へ観客を誘っていた。（茴）

ねずみ対策始まる
黎明会館

昨年から黎明会館内で多発しているねずみ被害に対し、具体的な対策がとられることとなった。まず被害状況を調査するため、5月中旬から下旬にかけ黎明会館運営委員会（以下、黎運委）が入館団体に対しアンケートを実施。その結果を学生部に報告したところ、学内の建物の管理をする施設部がねずみ駆除業者に依頼し、5月28日に館内点検を実施する運びとなった。

その点検でねずみが廊下側の扉の空気口から部会室へ侵入していることがわかったため、大学側は空気口に金網を設置することを決定。7月中に工事完了を目指す。黎運委ねずみ被害担当の小川晃弘さん（政3）は、「金網を設置しても入館団体の皆さんが部会室の掃除、扉・窓の戸締り、および食べ物の管理を徹底しないと効果は出ない。ご協力をお願いしたい」と話す。

黎運委は被害対策についての資料を6月21日付で入館団体へ配布。今後入館団体には一層の協力が求められる。これらの対策によりどれだけ被害が減少するか。その効果が期待される。

素朴な疑問
あれっ、電話はどこ!?

ある6月の昼下がりの、黎明会館内にある大学新聞社編集室。そこにはたった1人の新人記者が。まだまだ失敗ばかりの記者は、この日も先輩に言われたことを忘れてしまった。先輩に確認しよう！そう思い、携帯を取り出した瞬間「充電してください」の表示が……。仕方ない、公衆電話だ！目の前には、なぜか昨年度の学生生活の手引が。これには、確か学内の公衆電話の位置が載っているはずだ！そう思い手引を開くと、学内マップの黎明の入口の所に公衆電話のマークが。よかった、先輩に連絡できる！そう思い、記者は入口に飛んで行った。

しかし、入口に着いた記者がどこを見ても、公衆電話はない。その後、学内を探し回り西5号館で発見できたが、先輩への連絡が遅くなってしまった。

では結局、本学には現在どれだけ公衆電話があるのだろうか？気になった記者は調べてみた。その結果、北1号館の外に3台、西5号館に2台、正門、百周年記念会館、北2号館、東2号館に1台ずつの計9台しか発見できなかった。

時代の影で、急速に姿を消す公衆電話。このまま減り続けるならば、携帯が使えないとき、どこに救いを求めればよいのだろうか？まあ、それより夜にはきちんと充電する方が先だな！（話）

THE GUIDE TO CAMPUS LIFE
2003

四大戦予選会のお知らせ

運動部常任委員会主催で、第55回四大戦予選会（学内大会）が開催される。日程は7月18日から20日。雨天時は21日に順延される。

体育館、北グラウンド、野球場、硬庭・軟庭コート、卓球場で行われる。サッカーやソフトボール、卓球などの各種目で、本学代表を目指すチームの熾烈な戦いが繰り広げられる。

募集

1面コラム「素朴な疑問」では、皆様からのさまざまな疑問を募集しています。学内で不思議に思ったことを、press@gakushuin.ac.jp までお寄せ下さい。

居酒屋
海賊
営業時間
17：00〜24：00
TEL
03−3954−4229
目白駅　みずほBK　三井住友BK　海賊

明窓浄机

先日、父方の祖母が亡くなった。享年86歳だった。日本人女性の平均寿命が85歳と言われる昨今、私の祖母は天命をまっとうしたと言えるであろう▼その祖母の告別式の際、涙を流す父の姿があった。今まで生きてきた中で、父の涙を初めて見た瞬間だった。普段は自分の感情をあまり出さない父が見せた涙に、驚いた自分がいた▼思えば、祖母が病気で入院した2年前から父は頻繁に病院に通い、見舞いを続けていた。見舞いから帰ってきた父はなんともないような顔をしていたが、心の奥底では、弱っていく自分の母親を見るのは辛かったのかもしれない。祖母が元気だった頃に実家を訪ねてもあまり話をしなかった父だが、やはり相当な愛情で結ばれていたのではないだろうか▼一方、私は忙しさにかまけて、祖母の見舞いにほとんど行かなかった。祖母の姿を思い出せと言われても、元気だった頃の姿しか思い出せない自分に愕然とした▼しかし、通夜の日の朝、納棺のために祖母の家を訪ねると、そこには私の記憶にないまるで別人のような祖母の姿があった。棺に納められたその祖母の姿を前にして、ろくに見舞いに行かなかった自分を悔いた。そう考えると私も自然と涙が出てきた▼出棺の際に、棺に花を添えながら私は心の中でこうつぶやいた。「見舞いに行かなくてごめんね。どうか安らかにお眠りください」と。（鏡）

学習院 研究最前線
学問研究の「いま」

今回は、法学科の横山久芳助教授です。近年その重要度が高まっている知的財産法を研究されている先生。その中の「職務発明」を中心にお話を伺いました。（取材・構成　大谷瑠衣）

無形資産の保護

知的財産とは特許や商標など、人が作り出した情報という無形的な資産を指す。この無形資産を保護するのが特許法や著作権法などの法律で、これらを総称して知的財産法と呼んでいる。

「無形資産には発明も含まれます。企業は発明を利用し、付加価値の高い製品を市場に提供して莫大な利益を上げています。しかし、製品は一端市場に出回ると自由に真似をされる危険性があります。発明の模倣が自由だと、莫大な投資をかけたにもかかわらず、企業は費やした資本の回収が十分にできず、発明への投資意欲を失いかねません。そうすると、社会に新しい発明が生み出されず、産業が停滞してしまう。そこで発明を奨励し、産業発展を促進するため、特許権を認めているのです」

職務発明の役割

職務発明とは特許法の中にある。近年訴訟が増大しており、社会的な注目も高まっている分野だ。発明というのは、研究者の能力による部分が大きいため、当然従業者である彼らの権利を保護しなくてはならない。しかし、企業の莫大な投資がなければ発明は不可能だ。そのため、発明から生み出された利益の分配は従業者と企業との関係を考慮して決める必要がある。

『職務発明制度と特許法』
法学部法学科　横山久芳助教授
豪快な変遷の法を追う

「特許法第35条は職務発明のそうした関係を規定しています。現在の条文では従業者に権利を認め、企業はその権利を従業者から譲り受けることができます。ただし企業が権利を譲り受けた場合には、従業者に相当な対価を支払わなければなりません。多くの企業は従業者から権利を譲り受け、相当と思う対価を支払っています。しかし多くの場合、従業者はその対価に満足しないため、訴訟が多発しているのです」

たとえば、東京地方裁判所は今年1月に青色発光ダイオード発明の対価として、破格の200億円もの請求を認めた。このように、企業が相当と考えた対価が認められないこともあるのだ。現行制度では、国家が不相当な対価と考えれば、強制的に対価を認定できるが、企業は相当の程度が予測できず、大きな負担になっている。

平等な対価の分配

職務発明に対する対価の支給は、発明意欲向上につながるので企業は適正な対価を支払うべきだと考えられる。一方で、利益が出るかわからない発明とその事業化に莫大な投資をし、損失発生時の補填をしているのは、企業だ。

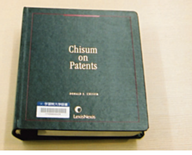
「職務発明は従業者と企業、双方の努力の結晶なので、利益を双方で公平に折半すべきだというのが、最近の裁判例の傾向です。しかし、公平な分配は従業者が発明ビジネスに伴うリスクを一切負わずにリターンだけを得られることになり、企業が不公平を感じかねません。また、あまりに高額な対価を支給すると、従業者は効率的に利益を上げられる応用研究に熱中し、すぐには利益に直結しない基礎研究が疎かになる危険性もあります。これは、長期的にみれば企業にとって大きなマイナスです。この問題は、利益を山分けすれば済むという単純な問題ではなく、企業での研究開発のあり方とも直結する重要で難解な問題なのです」

社会を映す法律

知的財産の制度としては、平成14年に知的財産基本法が成立し、国策で知的財産権保護を取り上げることになった。これは法律であるものの、権利義務規定ではなく、方針を示している。

「近年、知的財産法を取り巻く環境は大きく変化してきました。今世紀は情報化の時代といわれますが、実現には情報を保護する知的財産制度が重要です。先の知的財産基本法は今世紀の国家戦略として、知的財産制度を整備、活用すべきことを示唆したものです」

知的財産法は社会の動きに合わせて、目まぐるしく変動していく。先述した特許法第35条も改正案が作られた。しかし、その改正案でもすべての問題が解決するわけではない。社会をよりうまく動かす知的財産法の構築のために、研究は続けられる。



海外の書籍も重要な資料

PROFILE

横山久芳（よこやま・ひさよし）
東京大学法学部を卒業後、同大学大学院法学政治学研究科修士課程修了。同大法学部助手を経て、2002年に本学法学科助教授に就任。

情報特急便

自然科学系大学院・一般公開セミナー
『ヒトの生物学』全3回

『ヒトの進化』
講師：長谷川真理子氏
（早稲田大学政治経済学部教授）
日時：7月28日（水）
15時30分〜17時
会場：南2号館204号室

『ヒトのゲノム』
講師：榊佳之氏（理化学研究所ゲノム科学総合研究センター　センター長）
日時：7月30日（金）
15時30分〜17時
会場：南2号館204号室

『ヒトの脳と病気：アルツハイマー病の診断、治療法の進歩』
講師：井原康夫氏
日時：8月2日（月）
15時30分〜17時
会場：南2号館204号室

第2回就職セミナー
（3年生および大学院生対象）
『今後の就職活動の流れについて』
講師：有松広道氏（㈱ディスコ）
日時：9月17日（金）
18時〜（約2時間）
場所：百周年記念会館・正堂
※就職ガイドブック、進路登録票を配布しますので、就職希望の学生は必ず出席してください。

お待たせしました！
クリアランスセール
arena　UMBRO　DESCENTE　le coq sportif　Munsingwear
7/1〜 スタート！！
30％OFF〜
合宿前のチャンス！
デサント直営ショップ
D310 目白店
TEL 03−5979−6000
￥5,000以上お買い上げのお客様（限定２００個）システム手帳プレゼント実施中

「話す」技術を落語に学ぶ

人生の様々な場において、プレゼンテーションをする機会はあるはず。できればその能力を学生のうちに高めておきたい。本特集はそのコツを落語から探ってみた。

あなたは人前で話すのは得意だろうか。そして人前で思うように発表できるだろうか。

プレゼンテーションの成功のカギとは、言いたいことを伝えるだけでなく、いかに聞き手を惹きつけるかだろう。では、そのように「話す」ためにはどうすればよいだろうか。種々の方法が考えられるが、ここでは日本独特の話芸である落語に学んでみようと思う。

ここで「なぜ落語?」と思われる方もいるかもしれない。だが、この機会に落語を一つの話す技術としてとらえ直してみてほしい。落語はもともと日本の風土の中で育まれたもの。つまり、私たち日本人にとって落語は最適の学ぶ素材なのだ。さらに楽しみながら学べるという点でもよい方法だろう。実際に、大手語学学校ECC梅田校ではこのことに着目し、落語教室を開講している。

今号では噺家さん、ECC落語教室の方、受講生の方にお話を伺い、プレゼンテーションへの応用法を探った。

落語の魅力に迫る

そもそも落語とはどのようなものなのだろうか。落語の魅力などについて、落語家の桂平治さんにお話を伺った。

落語の始まり

「いろいろと説はあるんだけど、一番有力なのはお寺の法話に笑い話を交えた、という説だね。堅い話だけだと信者が集まらないから、その合間に笑い話をして、話を聴いてもらっていたようだね。あと、扇子を持ったり、高座で座布団に座ったりと現在の落語との共通点も多いよ。しかも、もとは法話のようにためになる話だから落語の始めに『「子はかすがい」と申しますが……』とテーマを言うことも多いよね」

内容が難しい法話に、庶民を惹きつけようとしたことから、落語は始まったようだ。

桂平治さん

PROFILE:1967年生まれ、大分県出身。86年に十代目桂文治に入門。99年、真打昇進。ラジオや寄席を中心に活躍中。

落語とお笑いの違い

「落語」と聞くと「笑点」を思い浮かべる人が多いが、「笑点のは大喜利といって、もともとは芸の拙い若手が集まってやっていたんだよ。落語は一人でやるでしょ。そこを勘違いしている人が多いよね」と残念がる。

また、最近ではコントや漫才など、お笑いブームが再来しているが、落語との違いはあるのだろうか。

「笑いの要素は変わらないだろうけど、落語は想像力が豊かでないとわからない面がある。コントはある意味、数人でやる芝居だから見ればわかるでしょ。だけど、落語は一人で何人も演じるからお客さんが頭の中で組み立ててくれないと面白くなくなっちゃうんだよ。だから、話芸としては落語の方が上だと思う」

落語を楽しむには、聞き手の想像力が不可欠なようだ。

上手に話すコツ

「一番大事なのは間の取り方。だけど、すぐにはできないから、経験を積まないとだめだね。あと、気持ちを込めて話すこと。喋り方にも人がでるんだよ」

間と気持ちと実践。これが話し方のカギである。

落語の面白さ

「昔は当たり前にあった人情の機微が落語にはあるよね。落語に出てくる人はみんなよい人なんだよ。だから落語を聴いた後は、お客さんも優しい気分になるみたい」

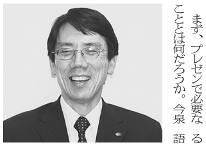
古き良き日本の温かさ。これが人気の秘密だ。（原俊太郎）

プレゼンに活かす

それでは実際に落語の技法をプレゼンテーション（以下プレゼン）に活かすヒントを探ってみよう。株式会社ECC取締役・今泉和行さんにその方法を伺った。ECCアーティストカレッジ梅田校ではプレゼンに必要な要素が落語と共通することに注目し、落語教室を開講している。

まず、プレゼンで必要なこととは何だろうか。今泉さんは次のように語る。

「第一に相手を把握すること。ユーモアを交え、話を受け入れやすい雰囲気を作り、自分の話に引き込む。そして相手が理解、納得するよう、相手の立場に立って、間・スピード・声量・トーン・ジェスチャーや表情などに留意し、心に残るよう、要点を表現し説得することですね。これらは落語とも共通の要素です」



「要点を押さえて」と今泉さん

そして、プレゼンで重要なのは、「相手を分析し、相手に受け入れてもらうためのラポール（親和関係）を築けるかどうかです。話のツボを押さえ、相手の心に残るような工夫をすることも大事ですね」

では、落語の技術をプレゼンに活かすには、落語のどこに着目すればよいのだろうか。

「落語で重要な『客を観察し、最適な声の大きさ・間や緩急のつけ方・表情・眼差し・ジェスチャーを使い分けること』を習得し、話の急所をしっかり伝える技術を実践により身につけて頂ければと思います」

同社の授業は、プロの噺家による実演と講義からなる全体指導と、受講者の実技演習から構成される。知識をコツコツ学習するというより、実演の中で自分に合った落語の技術を習得していくという手法だ。

また、受講者は高校生から中高年まで男女を問わず、幅広い層にわたり、それぞれが授業の内容を普段の生活に活かしている。その中でも大手電子機器会社に勤務している方が、社内企画プレゼンコンテストで準優勝するなど、効果の程は抜群のようだ。

授業で発表はつきもの

また、受講生の方は「人前で話すことが苦にならなくなった」「今までは自分一人で『伝えたいことを伝えたい』といった感じで話していたが、今では人にどうすれば聞いてもらえるかを考えて話をするようになった」「話が面白くなったと言われた」などと、落語を学んでの効果を実感していた。自分に合った落語の活かし方を習得すれば、印象的な発表をする強みとなるに違いない。

（江崎瑠里子）

立川志らくさんインタビュー

立川志らくさん

PROFILE:1963年生まれ、東京出身。85年に立川談志に入門し、95年、真打昇進。落語を超えた様々な分野で活躍中。HP:http://home.c07.itscom.net/tatekawa/

立川志らくさんが落語の世界に入り、約20年になる。今までに数え切れないほど舞台に立ち、観客を沸かせてきた。しかし、そんな志らくさんも初めから上手く話せたわけではないという。意外なことに、幼い頃はおとなしく、あまり喋らない子どもだった。

「大学の落研に入った時のことです。落語に詳しいから喋ることはできたけど、声は小さいし、舌の回りも悪い。最初は思うように話せませんでした」

しかし、今ではプロの落語家。どのようにすれば上手く話せるようになるのだろうか。

「話ベタな人は緊張して上がってしまいます。それをどう克服するかが重要でしょう。どんなベテランの人でも緊張します。その空間が楽しいか苦しいかの違いですね。楽しいと思えると、克服する事ができるんじゃないかな」

その緊張克服のためには、どうすればよいのか。誰にでも実践できる方法を教えてもらった。

「練習することが一番です。練習はテクニックを向上させる手段として必要だけど、同時に自分を納得させる意義が大きいのです。『これだけ稽古したのだから大丈夫』と自分に思わせることが重要ですね。即席というのは練習しているからこそできるものですよ」

「話すこと」とは

志らくさんは、落語を聞きなれない人の前で話す機会もある。話す相手によって変化をつけることはあるのか。

「客層に応じて、内容を変えるということはしません。お客様に対して失礼ですからね。ただ、口調を変えることによって相手の興味を引くようにしています。最初にワッと引き寄せると、あとは『この人の話なら信頼して聞ける』という雰囲気になりますから」

志らくさんにとって、「話すこと」は人生の一部であるという。

「舞台に立つというのは、ディズニーランドに行く時にワクワクするようなもの。仕事というのは、多少我慢してやらなければならないかもしれないけど、私にとっては一番楽しい。お客様が喜んでくれるとさらに嬉しいし」

現在、志らくさんが創作落語として取り組んでいるものに「シネマ落語」がある。映画を落語にする、という新しい試みで、始めた当初から大きな反響を呼んだ。シネマ落語を始めたきっかけについて、志らくさんは次のように語った。

「落語はポピュラーなものではないので、興味のない人は難しいものだと思いがちです。でも、落語で『タイタニック』をやりますよ、というと、少しはわかるかも、と思うでしょう。落語への間口を広げたかったんです」

志らくさんは、本業の落語家のほかでも、多彩な才能を見せている。今後の予定を伺った。

「まず、シネマ落語。それから、ものを書くことと映画を作ること。この3本立てで頑張りたいと思います」

7月には、志らくさんが監督を務める新作映画が発表される。既存の枠にとらわれることがない志らくさんは、「話すこと」から様々な分野への可能性を見出しているのだ。今後も目が離せない。

（北岡恵子）

落研に聞く

本学の落語研究会に所属する目白亭炭公さん（済2）に「話すこと」についてお話を伺った。

人に何かを伝えるためには、まず自分でその内容を理解しなければならない。が、炭公さんは「自分は理解するのが遅いんです」という。「だからこそ聞き手がどこでわかりにくさを感じるか理解でき、どうすれば伝わるか考えますね」

だが、落語に関しては話の筋だけ気をつかえばよいわけではないようだ。話の緩急、声の強弱、間の取り方、声色、同じ冗談でも言い方一つでニュアンスが変わってしまう。とても奥深い。

炭公さんにとって「話すこと」とは、との質問に「落語、日常に関わらず、内容を理解し、わかりやすく伝えること」と、ゆっくり考えながら答えてくれた。

私たちも「話す」という日常行為に「わかりやすく」を意識してみてはどうか。毎日が少し変わるかもしれない。（泰）

実際に落語を聴いて

以上のように、落語とプレゼンテーションの関係とその応用法を踏まえた上で、実際に落語を聴きに新宿にある末廣亭へ行ってみた。なるほど、噺家は話の間や緩急や、あるいは表情やジェスチャーなどを巧みに用いて、それは見事に聴き手を引き込んでいた。

末廣亭 HP:suehirotei.com/i

ところで、公演を聴いていて一つ再確認したことがある。それは、たとえどんなに間や緩急やその他の技巧を凝らしたところで、話の構造自体が明瞭でないと、それらのすべては台無しになってしまう、ということだ。話が不明瞭だと、聴き手は話のツボが理解し難くなる。そうなると、話の内容はもとより、どこで笑えばいいのかわからなくなり、話を聴く理由自体が失われる恐れがあるからだ。

一見自明なことのように思われるかもしれないが、話の構造をわかりやすく工夫することはとても重要だ。およそ、プレゼンテーションが上手く行えない人は、そこに問題があるのではないだろうか。まずはその問題を解決した後に、次の段階として落語の技法を取り入れるとよいだろう。そうすれば、人を惹きつけられるようなプレゼンテーションが出来るはずだ。

（平野献）

おわりに

大抵の人にとって、大勢の人の前で話すことはとても緊張することだろう。初めからプレゼンテーションに成功したという人も少ないと思う。

このことに関連し、よく「聞き手をかぼちゃだと思えば上手く話すことができる」などと言う人がいる。しかし、それではつまらなくないだろうか。それよりも落語のように、聞き手に話を受け入れてもらえるための工夫をすること。また、聞き手との親和関係を築く努力をすることの方が話す側としても楽しい気がした。

（江崎瑠里子）

◇　◇　◇

今回の特集では、インタビューをさせていただいた桂平治さん、株式会社ECC取締役・今泉和行さん、立川志らくさんはじめ、社団法人落語芸術協会の片岡勉さん、ECC社会人スクール本部企画広報課の亀井一真さん、ECC落語教室受講生の方々、株式会社立川企画の佐藤里美さん、落語研究会の方には本当にお世話になりました。心より御礼申し上げます。

企画・構成・取材
江崎　瑠里子
海老名　潤
小俣　登系美
北岡　恵子
三枝　晃子
原　俊太郎
原　泰一郎
平野　献

記者の眼

かけがえのない家族の存在

私は家族の貴さを、ある苦難に直面した家族の姿を通して再確認した。その家族とは、現在福岡ダイエーで投手として活躍する新垣渚の家族である。

平成10年11月、当時沖縄水産高校3年生だった新垣は、オリックスとの入団交渉を拒んでいた。新垣はダイエー入りを熱望していたため、交渉の難航は当初から予想されていたのだが、そんな中悲劇は起きる。交渉を担当していたスカウトが自殺――。自分のために人一人が死んだという事実は高校3年生には重すぎる十字架だった。

事件直後、新垣や家族を中傷する手紙や電話が自宅に殺到したという。新垣は急性胃腸炎になるほど精神的に追い込まれた。そして、新垣の家族も苦境下にいたということは想像するに難くない。だが、新垣の家族は逃げなかった。引っ越すことも電話番号を変えることもしなかったのだ。

そこには「（渚のために）やるべきことをやってみよう」という家族の決意があった。この決心からは、温かさはもちろん、苦しくても新垣を守ってやろうという家族の強さを感じる。非難や中傷からは、住む場所を変え、新しい電話番号にすれば一時的には回避できる。だが、現在のマスコミ報道のしつこさを見ると、新垣が野球を続ければ、いずれ新居や連絡先は突き止められてしまい、根本的な解決にはならない。

それにもし逃げていたら新垣は野球を続けていただろうか。もうこの先静かに暮らしたいと、野球を辞めていてもおかしくはない。それだけでなく、これ以上家族に迷惑はかけられないと、家族を想うゆえに夢を諦めていたら――。家族が苦難に立ち向かったことが新垣から野球を奪わなかったのだ。

もちろん新垣を支えたのは家族だけではない。進学先の野球部のチームメートや、ライバルであり友人でもある松坂大輔の存在も大きかった。しかし、新垣にとって家族は、やはり特別の存在だったようだ。

それを象徴しているシーンがある。平成14年のドラフト会議でダイエーから指名されたときのことだ。新垣は記者会見の席で「家族がいたから頑張れたと思います」という第一声を発している。世間が注目する中、新垣の口から出てきた言葉はほかの何者でもない「家族」だった。友達やチームメートももちろん大切なのだが、やはり、まずは一番近くにいる家族を大事にするべきである。

（政治学科3年　大田祐貴）

教育の意識問題

一人の人間の人格形成に影響するものの中で、教育は大きな割合を占めているだろう。人間は教育により成長を促される。つまり、教育によって人間はいつでもよい方向にも悪い方向にも変わることができるのだ。

教育学には「人間は教育をもって成長し続けるもの」という原則がある。それは、極端な言い方をすれば、教育をする側はどんなことがあっても諦めず、その人間の成長を信じて教育をし続けるべき立場にあるということだ。たとえいかなる相手であろうとも、決して投げ出さない。つまり、相手が凶悪な犯罪をおかした少年であっても更正を促し、教育をし続けるのだ。

しかし、口で言うのはたやすいが、いざこのことを実行するのは骨が折れることである。たとえば、学校で何か問題が起こったとする。マスコミによる報道の影響があるかもしれないが、何か問題が起こると、世の中全体が「学校の教育に問題があったのではないか」と、学校を糾弾しがちだ。それでも学校の教諭はそれが仕事なのだから、さじを投げないのが当たり前と、世間の人は言うだろう。確かに、学校の教諭が担任するクラスを見捨てれば、世間から批難されるのは当然だろう。だが、それに至った過程を想像してみてほしい。家庭は教育を学校に任せきりにしてはいないだろうか。そんな家庭があるのだから、彼らの背負う重圧は計り知れない。本当に世間の人は学校だけを一方的に責める資格があるのだろうか。

子どもの教育は、家庭の役目、さらには社会の役目でもある。教育とは学校だけで行われるものではないのだから、学校外の教育も同じくらい重視されるべきなのだ。それを早々に諦めて、「学校が何とかするべきだ」と、子どもの教育を投げ出す態度はおかしい。教育とは、学校の先生や教育学者といったスペシャリストだけがするのではない。世の中の一人一人が責任をもつべきものなのだ。社会にその意識が欠けているように思う。

人間はいつでも正しい知識を身につける機会があれば、変わっていける。だからこそ、教育とは諦めてはいけないものなのだ。社会全体がこのような体制になれば、今、社会が抱えている教育問題も変わっていくのではないだろうか。

（物理学科3年　江崎瑠里子）

政治に直接参加できるチャンス！　参議院議員選挙　7月11日（日）

Q　当日、投票所へいけないよ。どうすればいいの？
A　6月25日～7月10日までの間、名簿に登録されている区市町村の期日前投票所で投票できますよ。

期日前投票
投票の権さん
簡単だなあ
宣誓書の提出
投票の記載
投票箱へ

○投票時間等は期日前投票所によって異なる場合がありますので、東京都または区市町村選挙管理委員会にお問い合わせください。

若者の意見を反映させよう！
リッキー
東京都選挙管理委員会

戦慄!! 真夏のホラー特集

夏といえば何を思い浮かべますか。スイカ、花火、盆踊り？　いやいや本命が残っているはず。

今号は夏の定番、ホラー特集です。怪談ツアーにお化け屋敷、恐怖本から妖怪学まで、あますところなくご堪能あれ。

ひと夏の体験 怪談ツアー

テレビや雑誌でホラースポットが紹介され、稲川淳二が活躍し、遊園地に夏季限定のホラー系アトラクションが登場する夏。しかし、そんな月並みの夏から一歩踏み出し、背筋も凍る恐怖体験をしてみたいと思う人もいるはず。そんな人には、黄色いバスでおなじみのはとバスをおすすめする。一風変わった「**講談師と行く怪談ツアー**」と「**講談師と行く夜の怪談ツアー**」を主催しているのだ。

毎年、夏休み限定で行われているこの企画は、数時間かけて都内近郊のホラースポット（下図参照）を巡るというもの。たとえば、あの四谷怪談のお岩さんが祀られている於岩稲荷や、平将門の首が胴体を求めて京都から飛来し力尽きた地とされる**将門の首塚**（写真）など、いずれも史実に残る実際の場所である。

もちろん、今年も夏休みに行われるこの企画。見どころや、特徴はどのようなものなのだろうか。そこで、株式会社はとバス企画部計画課の守屋友博さんに伺ってみると、「まず、最大の特徴は、常に講談師が同行することです」との話。

講談師とは、独特の口上で話聞かせ（講談）をする人のことである。「どの場所にも、いわくだとか過去の歴史があるわけです。それを車中などで講談師が語り、実際にその場所を訪れる。講釈もよかった、歴史も勉強できた、名所もまわれた、というお声をお客様からいただいております」

それでは、一押しスポットとはどこなのだろうか。「毎年定番で組み込んでいる谷中（台東区）の**全生庵**（講談師と行く怪談ツアー内）はおすすめですね」。全生庵には、落語家の三遊亭圓朝が創作の参考のためコレクションした幽霊画や、人間国宝の五代目柳家小さんが寄贈した幽霊画が所蔵され、8月限定で一般公開されている。「昼のツアーで立ち寄るのでなんとか耐えられますが、もし夜だったらと考えると、本当に怖いですよ」

また、今年からの新スポットもあるそうだ。「新たに**小塚原刑場跡**（講談師と行く怪談ツアー内）を加えました。下見で行ってみたら、雰囲気もあり怖かったですよ」。江戸時代に作られた小塚原刑場は、江戸3大処刑場の1つ。明治になって取り壊されるまで約20万人の処刑が執行されたといわれている場所だ。

では、この2つの怪談ツアーにはどのような人が参加しているのか。「リピーターと新規のお客様の半々といった感じでしょうか」。ツアーに魅了され毎年参加する人も多い。私たち大学生も参加すれば、とりことなるに違いない。「大学生にはグループやカップルで参加していただきたいですね。最初は気軽な気持ちでいいんですよ。ただ、終わったあとに『なんだか、普通の名所めぐりとは違ったな』と感じていただけたら、と思います。それが、講談師と巡るという、個人ではできない体験型のツアーなんですよ」

ぜひこの夏は、自らの肌で何かを感じ取ってもらいたい。（取材　高田繁治）

都心にひっそりとたたずむ将門の首塚

★講談師と行く
　怪談ツアー
料金：おとな8500円
　こども5940円
運行日：8月1日、7日～31日の月曜を除く毎日

★講談師と行く
　夜の怪談ツアー
料金：おとな8500円
　こども6500円
運行日：7月17日～8月27日の土曜、および8月12・13日

☆はとバス予約センター
電話：03－3761－1100

講談師と行く怪談ツアー

小塚原刑場跡（南千住）＝川風（食事）・浅草観音・仲見世（自由散策）＝谷中・全生庵＝四谷・於岩稲荷田宮神社＝将門の首塚

出発地	出発時刻	終了予定時刻
東京駅丸の内南口	10:00	16:10
新宿駅東口	9:20 東京駅経由	16:10 終了は東京駅

講談師と行く夜の怪談ツアー

中央区新川・於岩稲荷田宮神社＝伝馬町牢屋敷跡＝番町＝紀の国坂＝道灌かがり芝浦店（食事）＝将門の首塚

発着地	出発時刻	終了予定時刻
東京駅丸の内南口	17:00	21:20

聴いて感じる恐怖

りんかい線東京テレポート駅から徒歩5分。モダンな建物の中に、東京ジョイポリスはある。

園内は近代的な雰囲気だが、その中にある「かごめ唄」は昔ながらの雰囲気を持ち合わせているお化け屋敷だ。これは音と感覚で味わうというものである。

席に着きヘッドホンをつける。すると照明が消え、話が始まった。

様々な噂や伝説を持つ「かごめ唄」に興味を持ったモーニング娘。のメンバー、安倍なつみ・紺野あさ美・矢口真里・石川梨華。待ち合わせではぐれた4人は、2人ずつ別々の場所へたどり着いてしまう。一方は山小屋へ、もう一方は実験室へ。どちらも「かごめ唄」にゆかりのある場所であり、それぞれの場所には妙な言い伝えのある籠がある。その籠の言い伝えとは、そして、4人が体験する奇妙な現象とは……。

このお化け屋敷はヘッドホンから聞こえてくる声や音、突然吹いてくる風やイスの振動といった特殊効果で、臨場感たっぷりだ。さらに、このお化け屋敷は前編「**遭遇**」と後編「**覚醒**」の二部構成となっている。ストーリーが連動しているので、続けて体験すれば恐怖も倍増。時間を忘れてのめり込んでしまうだろう。

ここの売りはモーニング娘。の4人が声で出演していることである。4人が驚いたり恐怖する様子は、実際に彼女たちが自分の近くにいるような感覚になる。

うす暗くあやしい雰囲気が漂う室内

広報の田中さんは、「モーニング娘。だからといって侮ってはいけません。地味ですが人気がありますし、暗闇も意外に怖いですよ。あまりの怖さに、途中でヘッドホンを外してしまう人もいれば、出てこられなくなってしまう方もいます」と話していた。また、「霊感の強いお客様から、実際に霊がいたような気がするなどの報告があったので、お祓いをしてもらいました」という裏話まで語ってくれた。

毎年、「夏は暑く、過ごしにくくて大変だ」という人は一度行ってみては。きっと涼しくなれるだろう。

（取材　嶋先伸人）

料金：パスポート
　2800円
　（7月16日まで）
定休日：不定
営業時間：10時～23時
電話：03－5500－1801

実話怪談と創作怪談

毎年この時期になると、「ホラー」をテーマとした様々な本が出版される。書店でも怪談本フェアが催され、皆さんの目にとまることも多いだろう。

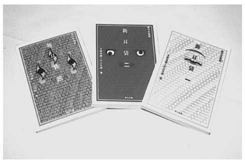
現在、怪談ブームの主役となっているのは、「心霊実話・怪奇実話」と呼ばれているジャンルのものだ。これらは幽霊を見たとか、怪奇現象を目撃したなどの内容が中心となっている。このタイプの怪談本ブームの火付け役であり、映画など他のメディアにも多大な影響を与えているのが『**新耳袋**』（角川書店・写真）である。このシリーズは各巻ごとに百物語の形式で、「怖い話」「不思議な話」を収録している。著者が全国をまわり、集めてきた怪談はどの話も読み手に恐怖を与える。

『新耳袋』のように人から聞いた話をまとめた本がある一方、著者自らの体験をエッセイ風に語った本も多く出版されている。このような種類の本は体験した本人が語っている分、説得力があり、実話としての信憑性が増す。この種類の本で最近話題となったのが『**怪談徒然草**』（メディアファクトリー）である。これは、著者である加門七海が自ら体験した怪奇譚を、四日四晩にわたって語りおろした実話怪談集となっている。インタビュー形式で進められる本書は、著者の独特の語り口により、読者を摩訶不思議な世界へといざなってくれる。

このような怪談が人気を集めるようになったのは、今に始まったことではない。江戸時代には、ちまたのうわさを集めた怪談集が多く書かれている。中でも江戸後期に鶴屋南北の書いた『**東海道四谷怪談**』（岩波書店）は現在に至るまで舞台、映画、小説、コミックなど何度も形を変えて語り続けられている。この話は生世話物と呼ばれる一種の実録として書かれており、現代の実話系怪談に通じるものがあるかもしれない。

これまでに挙げた作品はいずれも実話系の作品だが、「ホラー」をテーマとした創作小説も数多く出版されている。その中でも倉坂鬼一郎の『**百物語異聞**』（出版芸術社）は、「魔界の使者」と評される著者の初期短編小説を再編集したもの。本格怪談が多く収録されている一方で、思わず笑ってしまうような珍談も収録されており、読み手を飽きさせない。

このように、ひとくちに「ホラー」をテーマにした本といっても「実話系」「創作系」などジャンルは様々だ。しかし、どの作品もあなたに、身の毛もよだつ恐怖を与えてくれることだろう。（新原大輔）



不気味な表紙が興味をそそる『新耳袋』

企画・構成・取材
岡本　麻由
河野　雅子
嶋先　伸人
高田　繁治
新原　大輔
柳川　香里

妖怪の世界をご案内

ホラーの中でも学問的に研究されているものがあります。その1つが妖怪学。妖怪学に詳しい学習院大学名誉教授の諏訪春雄先生に、お話を伺いました。

——そもそも妖怪とは何ですか？

「妖怪」という言葉は、もともと中国で生まれた言葉です。ただ、現在とは意味が異なり、「人間の理解を超えた不思議な出来事」という意味でした。それが、日本に伝わり文芸の世界などで使われるうち、現在と同じ「意思を持った不思議な存在」という意味になっていきます。つまり、単なる不思議な現象ではなく、人間に対して悪意や善意など様々な意思を持って関係してくるものなのです。

——妖怪と幽霊は違うのですか？

全く違うものですよ。第一に、妖怪は生きていますが、幽霊は死んでいます。生きている幽霊はいません。また、幽霊は人間ですが、妖怪は人間以外の存在。そして、妖怪のすみかは異界ですが、幽霊は他界、あの世に住んでいます。

異界というのは、存在するのはわかっているけれど、理解の及ばない範囲とでも言えましょうか。『鶴の恩返し』に登場する、鶴がはたを織っていた部屋がよい例だと思いますよ。

——現代の妖怪とは？

異界は、なくなりやすいもの。多くの妖怪を生んだ昔の自然が失われると共に、そこに住んでいた妖怪もいなくなりました。しかし、現代になって出てきた私が考える新しい異界は、非常に複雑化した人間関係や進歩したIT機能、人間の細部に入り込んだ遺伝子研究などです。この3つが今後、単独や複合で妖怪を作り出すこともあるのではないでしょうか。

——妖怪のどこに魅力を感じますか？

私は、妖怪を「人間の自分探しの旅の同行者」だと考えています。妖怪には人間の思いや感情がすごく反映されているんですよ。不思議な現象を、妖怪のせいだと判断するのは人間。臆病な気持ちでいれば、恐ろしい姿の妖怪を生み出すだろうし、心が満たされている時は、可愛らしい妖怪が見えてくるかもしれない。つまり、妖怪と出会うということは、自分の本当の姿を見つけ出すことだと言えます。それが最大の魅力ですね。

（取材　柳川香里）

「妖怪を大切にして」と諏訪先生

あの頃 私も若かった ②

どちらも大事 体と知識欲

法学部法学科 石川博康助教授

人生経験豊富な教員方に、示唆に富んだ失敗談を語って頂く本コラム。今回は、法学科で一、二を争うヤングマン石川博康助教授です。

丈夫な体を

今まで人生を左右するような失敗はなかったですね。あえて挙げるなら院生時代に運動不足で体を壊したことです。元々体が丈夫な方ではないのですが、運動をしていたおかげで病気にはならなかったんですよ。でも、大学院に入ると忙しくなって運動する習慣がなくなり、原因不明の熱が数日続いたこともあります。

運動を始める機会もあることはあったんです。同級生からフットサルに誘われまして。でも断ってしまいました。私は他人に気を使い過ぎてしまう性格なので、スポーツも団体競技より個人競技の方が好きなんです。それが災いしましたね。

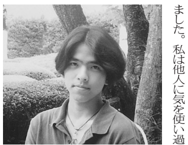
どんな場合でも体は大事です。体調を崩せば仕事にならないですから。今は運動代わりに自宅から大学まで毎日自転車で通ってます。

幅広い知識欲を

それと大学時代にもっと小説を読んでおけばよかったと思います。昔から小説が好きでしたが、大学時代はほとんど専門文献ばかりになってしまって。大学時代は思い切り小説を読める時期なので、皆さんにも読むことをおすすめします。名作小説などを多く読むことで洗練された日本語に触れることができるはずです。

実際、優れた論文の中には、内容だけでなく叙述の展開もエレガントなものがあります。こうしたものは論文だけ読んでいても書けませんね。いつか私もそうした論文を書きたいと思っているんです。私が大学生の頃に影響を受けた先生方は、法律以外の知識欲も刺激してくださいましたので、皆さんにもそうした体験をしてもらえればと願っています。

（取材・構成　海老名潤）



大学1年生の頃

現在の石川助教授

PROFILE

2000年東京大学大学院法学政治学研究科修士課程修了。その後同大学院助手を経て、今年度より本学法学部法学科助教授に就任。専攻は契約法。趣味はテニスと自転車。

映画

茶の味

監督　石井克人
出演　坂野真弥、佐藤貴広、浅野忠信、手塚理美
　2003年／日本／143分
配給　クロックワークス／レントラックジャパン

『鮫肌男と桃尻女』『ＰＡＲＴＹ７』で邦画界に新風を吹き込んだ石井監督の４年ぶりの新作は、これまでとは一味違ったホーム・ドラマである。

山間の小さな町に住む春野家の人々は、春霞のような小さなモヤモヤを心に抱えている。長男の春野一（佐藤貴広）は片思いの女の子が転校したショックでうちひしがれていた。告白どころか、一度も声をかわしたことさえなく、自分のふがいなさを後悔する日々。一方、小学校に入学したばかりの妹、春野幸子（坂野真弥）の悩みは、巨大な自分の分身が勝手に出現し、家の庭先や校庭などで自分のことをじっと見つめていることだった。「一体いつになったらあの大きな自分が目の前から消えてくれるのだろう」誰にも言えない小さな葛藤が、幸子を憂鬱にさせる。子育ても一段落した母の春野美子（手塚理美）は再開したアニメーターの仕事に没頭し、他のことは上の空。引退したアニメーターである祖父、アキラおじい（我修院達也）の指導のもと、日夜アニメキャラクターのポーズ研究に余念がない。睡眠治療士である父の春野ノブオ（三浦友和）はアキラおじいと美子が自分にわからない世界で仲良くしているのが面白くなく、夫婦間に微妙なミゾを感じている。

この映画で描かれているのは、こうした春野家とその周辺人物たちの、本人たちにとっては平凡だが、第三者が見れば非凡な日常。大きなドラマはなく、ほとんどは短時間で描かれる小話のようなエピソードである。また、各エピソードはどれもこれもちょっと説明不足と思わせるほどだが、それが観た者の心に余韻を生む。つまり、各エピソードの結末に明確なオチがないのだ。描かれた以上のことは、観客が想像して補うしかない。そしてそれを想像するだけの時間を、この映画はちゃんと観客に与えている。全体を通して、ゆったりとしたテンポが何とも言えず心地よく、鑑賞後には心に何か温かいものが残る。　（柳川香里）

©2003「茶の味」製作委員会

７月17日より、シネマライズにて公開予定

CAMPUS GUIDE

●広告研究会
「melancholia」
日時：7月27日（火）17時～23時
場所：MILK（恵比寿）
料金：前売り・2000円（1ドリンク付）
　当日・2500円（1ドリンク付）
内容：毎年恒例のクラブイベントです。

●フライングハウス
「トロピカーナ」
日時：8月9日（月）
場所：原宿ロスアンゼルス
料金：500円
内容：音楽愛好会とフライングハウスの合同イベントです。

●スカイサウンズジャズオーケストラ
「夏のライブ」
日時：8月15日（日）
場所：赤坂B♭
料金：無料
内容：他大学との合同ライブです。ぜひ皆さんでお越し下さい。

●国劇部
「平成十六年度本公演」
日時：8月21日（土）
場所：池袋豊島公会堂
料金：1000円
内容：演目は『新版歌祭文』野崎村の段。プロの演奏、プロの衣装の豪華な舞台です。

やるき茶屋　目白店
ランチ　11：30～14：00　　夜　16：30～23：00
学習院生限定
お一人様3，000円で
料理付き飲み放題コース（税込）出来ます。
㊅
５～７０名まで掘りこたつ式の個室でご用意いたします。
さらに
このチラシをご持参の方は
コース料理を１０％ＯＦＦ
Book　Offの上
豊島区目白３－５－１５　２Ｆ
Tel．０３－５９８３－７２６１

Hair salon
中央理容専門学校ヘア・サロン
授業の一環として学校内でヘア・サロンを行っています。男女問わずカット・パーマ等の技術を心をこめて行っております。
詳しくは、電話でお問い合わせ下さい。
予約受付時間　9:00～16:00（月～土）
営業日　6月9、10、23、24日　7月7、9日
要予約　03（3950）8809
営業時間　9:15～14:30
学習院大生のみ　カット500円　・　パーマ1000円
学習院大学　西門　昭和シェル　JR高田馬場方面　JR目白駅　切手博物館　am pm　公団住宅　中央理容専門学校　目白通り　新目白通り
メール予約もOK！
http://www.chic.ac.jp

THE FIRST & LAST
MAC's CARROT
Founded 1973 MEJIRO
10:00~23:00
Reservation Call　03-3565-3668　090-2765-3415
e-mail　doppe1949022mac@docomo.ne.jp
akito.tubo@nifty.ne.jp
KOUN BUILDING 3-16-16 MEJIRO TOSHIMA-KU TOKYO
TO IKEBUKURO　MAC's CARROT　MITSUISUMITOMO BANK　MEJIRO s　MEJIRO sta.　GAKUSYUIN

あなたのカレッジライフを
鮮やかに彩ります。
全館バス・トイレ・キッチン付き個室
ご両親も安心な諸設備！
雨でも傘なしでOK！
駅ターミナル出口より徒歩1分
■交通／JR（山手線・埼京線）地下鉄（丸ノ内線・有楽町線）
私鉄（西武池袋線・東武東上線）池袋駅徒歩4分
大学生活のスタートは安心できる
池袋女子学生会館
〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-22-8
TEL.03（3982）1751（代）

甲南大の壁厚く
ラグビー部

スクラムを組んで気合いを入れる選手たち（紺のユニフォームが本学）

蹴られたボールが宙を舞う。そしてその落ちてくるボールを目指して、1つのところに人が群がる。ボールをもぎ取った選手が仲間にパス。相手の陣地を目指して全速力で走る。が、相手選手のタックルでボールは敵の手に……。

6月13日、本学北グラウンドで毎年恒例であるラグビーの甲南戦が行われた。ここ数年間、甲南大に負け続けていたため「今年こそ絶対に勝つ」というのが本学の目標であった。

前半、試合を制しているのは本学であるが、チャンスをものにできなかった。しかも次第に相手ペースとなり、1トライを与えてしまった。懸命に攻めるも押される本学。さらに隙をつかれて攻められ、結果もう1トライを許してしまう。

「今回の作戦は試合の流れに乗ることだったんで前半はよかったんです。先制点を取られたけれど、この時は『このままの調子でいけば後半は追いつける』と思っていました」と本田公彦主将（営4）は前半をこう振り返っている。

しかし後半に予定が狂い始める。前半はバラバラだった相手のオフェンスがまとまってきたのだ。必死で対処しようともがくが、相手の方が1枚上手。相手はねじ伏せるようなプレーをしてくる。そして次々にトライを決められ、点差を一気に広げられた。

ここで負けず嫌いの血が騒いだ。攻められた分だけ攻め返そうとふんばり、後半中盤にウィングの広瀬順一選手（政3）がついに1トライを決めた。一気に盛り上がる本学。これで巻き返したと思いきや、相手にすぐさまボールを奪われ本学の流れは阻止された。

しかしこれで終わる本学ではない。試合終了直前、甲南の鉄壁を破り、右プロップの真仁田聡選手(英3・まにた)が2トライ目を決めた。本学のこれでもかという気迫と、負けたくないという執念が見受けられた。が、36―18で敗戦。

「今回は勝ちにいくつもりだったし、勝てる試合でした。試合で普段のプレーができていたら、こんなにも点差は開かなかったと思います」と本田主将は試合を総評した。

この試合結果は今の実力だという。これからの課題はディフェンスとトライの強化。「春期はあと練習試合が3つ。ディフェンスと練習でやったことを試し、試合ごとに実力がついている実感を部員全員に持たせたいですね」と語ってくれた本田主将の眼差しは熱かった。

次の試合では今回の弱点を克服して練習の成果を発揮してほしい。

（安孫子友香）

持ち味発揮し13点
ラクロス部女子

積極的に攻め続けた松田選手（中央）。この日5得点をあげる活躍を見せた

6月20日、気温が30度を超える炎天下の中、武蔵大学朝霞グラウンドで女子ラクロスの四大戦第2戦が行われた。本学は同じ1部リーグに所属する武蔵大相手に、大量13点を奪って第1戦の成城大戦に引き続き圧勝。しかし、27日に行われた対成蹊大戦に敗れ、残念ながら四大戦2位という結果に終わった。

初戦の成城大戦に勝利した本学は第2戦の相手、武蔵大を全く寄せつけず、13―2の大量リードで見事勝利を飾った。完勝と呼ぶにふさわしい戦いぶりだった。

この日の試合、とにかく面白いようにゴールが決まった。開始2分、アタッカーの松田直子選手（法3）がゴールを決めると、その後も全日本ユース代表の大迫美季選手(学習院女子大・国際コミュニケーション2・おおさこ）の、素早い攻めで相手ディフェンスを翻弄。さらには、高橋愛主将（営4）の強気な攻めもあり、前半に7点を奪う猛攻を見せた。特に、先制点を決めた松田選手は攻撃の手を緩めることなく、前半だけで4点を挙げた。

後半も本学の勢いはまだ止まらない。開始早々1分、武蔵大に1点を返されるものの、本学は気持ちをすぐに切り替え、大迫選手のシュートを口火に、またしても怒涛の攻めを見せた。しかし、後半の中盤あたりからミスが目立ち始める。武蔵大にボールをキープされる時間が長くなり、何回か本学の陣地に攻め込まれる場面が見受けられた。

このことに関して試合後高橋主将は「大量リードを奪ったことによって相手の力に合わせてしまった。どんな状況でも全力で自分たちのプレーをしていかなくては、強豪相手に勝ちあがっていくことはできない」と気持ちを引き締めた。その後は、地力の差で勝る本学が武蔵大の粘りを振り切って、しっかりと勝利を収めた。

オフェンス・ディフェンスともによく機能した本学。オフェンスでは、武蔵大が敷いたゾーンディフェンスに対して上手く対応した。カットインを使い、相手ディフェンダーを中に引き付ける。それに合わせて他の選手がゴール前に飛び込むチームプレーで、武蔵大のゾーンディフェンスを崩壊させた。

ディフェンスでは、本来はこの試合のために練習してきたゾーンディフェンスを本学も使う予定だった。だが、激しいプレッシャーを相手選手にかけて早い段階でボールを奪っていく。そのため、ゾーンディフェンスを使わずして試合を乗り切った。「ボールを奪われたらすぐさま自陣のゴールの周りに3人配置して、三角形をつくる。そこでボールを持っている選手へプレッシャーをかけて、大きいパスのカットを狙いました」と高橋主将は試合後に作戦を明かしてくれた。その作戦がはまり、ボール支配率は圧倒的に本学に軍配が挙がった。

そして四大戦最終戦の対成蹊大戦は、27日に行われた。結果は3―8で本学は敗れてしまい、四大戦優勝はならなかった。主力選手が半分不在でチーム力が下がったため、勝つためには控えの選手の頑張りが必要不可欠だった。しかし、この敗戦を教訓に控えの選手が奮起し、成長を遂げることができたなら、8月から始まるリーグ戦に向けて大きな戦力アップになるはずだ。

1部リーグの強豪を破っていくには、今以上のチーム力アップが必須になってくる。「目標は関東優勝です」と力強く語っていた高橋主将。チームの底上げに成功すれば、おのずと結果はついてくるだろう。

（内藤真治）

▼四大戦

学習院大	14―2	成城大
学習院大	13―2	武蔵大
学習院大	3―8	成蹊大

粘り見せるも力及ばず
バスケットボール部女子

6月6日、武蔵大学体育館において対成蹊大戦が行われた。バスケットボール四大戦の初戦となったこの試合は、息もつかせぬ大熱戦となった。

選手人数は本学が18人に対し、成蹊大がギリギリの5人。人数面で優勢かと思われたが、最初に試合の主導権を握ったのは成蹊大だった。ディフェンスからの速攻で本学を翻弄する。

「立ち上がりは相手のプレーを見抜けず、勢いに押されてしまった」と中島理絵主将(独4)が語るように、本学は第1クオーター終了時で8―21の大量リードを許してしまう。試合前半は苦しい展開だった。

しかし第3クオーター、運動量の落ち始めた成蹊大を攻め、本学は3点差まで詰め寄る。第4クオーター初めには吉澤由佳選手（法3）がシュートを決めて41―39。本学はこの試合初めてのリードを奪った。

だが、皮肉にもそれが裏目に出る。このままいけば勝てるかもしれないという気持ちから、選手たちが油断し始めた。一度途切れた緊張の糸はなかなか繋ぎ直せない。試合終了3分前、成蹊大に4連続ポイントを奪われてしまう。そして、反撃する間も無く試合終了のブザーが鳴った。

46―49。本学は四大戦の初戦を白星で飾ることができなかった。

試合後、中島主将は「相手の方が勝ちに対する執着心が強かったです。残りの2試合に向け、もう一度チームを立て直したいです」と力強く語った。

本学はこの敗戦を活かし、成城大と武蔵大を下して四大戦で優勝を果たした。逆境を乗り越えていく彼女たちからもう目が離せない。

（戸村修一）

ドリブルで敵陣へ攻め込む中島主将

▼四大戦

学習院大	46―49	成蹊大
学習院大	127―11	武蔵大
学習院大	81―56	成城大

甲南戦、久し振りの勝利
硬式テニス部女子

「きちんと勝利したのは久しぶりで素直に嬉しかったです」と鈴木麻里主将(法4)は試合後に語った。6月12日、硬式テニスの甲南戦が本学で開かれた。ダブルス2試合、シングルス5試合の計7試合が行われた。

第1試合、高木幸子（政4）・原千絵子（営3）ペアのダブルス。滑り出しは好調だったが、詰めが甘く第1セットを落としてしまう。続いての第2セットは接戦に。6―6で迎えた第13ゲーム。相手を攻めてミスを誘い、最後にスマッシュを決めて波に乗る。

同点に追いついての第3セットでは第1ゲームをサーブで40―0とストレート勝ちを決め、本学のペースに。次々とスマッシュを打ち込み6―3でゲームを取る。本学は幸先のよい滑り出しを見せた。

一方で鈴木・武藤有美(法3）ペアも、2―6、6―3と競り第3セットに勝負を持ち越す。だが、惜しくも6―7でセットを奪われ、敗北した。

午後から始まったシングルス。原選手は第1セットをストレートで下すが、第2セットを4―6で落としてしまう。しかし、第3セット、相手は疲れが出たのか、ミスを連発。結果、6―2で原選手が第3セットを奪い、勝利した。

「ダブルスを2ポイント差で落としてしまったのでシングルスは取らなければ」との意気込みで挑んだ鈴木主将。ミスが多いものの得意のスマッシュで相手にひけを取らない。そして、7―5、6―2で見事勝利を収めた。

高木選手も6―3、7―5でストレート勝ちを収める。この時点で本学の勝利が決まった。しかし、武藤選手と和泉奈穂子選手（物4）は大差をつけられストレート負けを喫する。

本学はダブルス1―1、シングルス3―2、計4―3で甲南大学に勝利。鈴木主将は振り返る。「選手だけでなく応援などのバックも含め、チームとしてまとまったのがよかったです。チーム力は学習院テニス部女子の一番の武器です」。

今後の課題はメンタル面の強化だという。だが、関西の強豪校に勝ったことで自信を持ってよいだろう。この結果を活かし、今夏、リーグ戦2部昇格を目指す。

（平峯さとみ）

シングルスで貴重な勝ち星を挙げた鈴木主将

Replay

馬術部主将

梅澤直人さん（法４）

一言が生んだ馬との絆

梅澤さんは2年生の12月に全日本学生馬術大会に毎年出場している馬、篠桜（しのざくら）の担当になった。その篠桜は競走馬のときの名前「コメンテーター」にちなみ、「コメ」と呼ばれている。梅澤さんは、翌年6月に行われる全日本の予選である関東学生馬術大会に向け、コメと共に日々練習に励んだ。

しかし練習では何度となく障害を跳び越える寸前で急に止まられ、落馬を繰り返した。試合に出てもなかなかよい成績を残せない。そんなことが続くうちに、梅澤さんはコメに対して次第に不信感を抱くようになっていった。

そして、関東大会まであと1ヶ月と迫った5月。ある大会で、梅澤さんは落馬して気を失ってしまい、コメへの不信感は頂点へ達してしまう。

そんな最悪の状況下に転機は訪れる。偶然オーストラリアから来日していたコーチから「馬を信用してないから走ってくれないんだ」という指摘を受けたのだ。

それまで梅澤さんはコメを下に見ていた。もちろんなめられてはならないので、ある程度の上下関係は必要。だが何でも無理やりやらせようとしていた。「友達のように接するようになりましたね」。コーチの一言でコメへの接し方が180度変わった。

すると、コメも梅澤さんの変化を感じて素直に梅澤さんの言うことを聞いていくようになる。梅澤さんとコメは関東大会までのわずか1ヶ月間で、互いに心を通わせるまでに絆を深めることができたのだ。そして梅澤さんはコメの本来の能力を存分に発揮させて、念願の全国への切符をつかむ。

結局、この全日本ではよい成績は残せずに終わってしまう。しかし、梅澤さんは「結果は残せなかったけれど、それよりも馬を信頼して走れたことがよかったです」と述べていた。

そして現在、梅澤さんはコメとの絆を深めることができた「とにかく馬を信頼してやれ」という教えを、後輩へと伝えることに力を注いでいる。後輩たちも、この言葉の大切さが、身に染みてわかる日がいつかは訪れることになるだろう。

（大田祐貴）

お詫びと訂正

前号（第189号・6月7日発行）に掲載致しました4面コラム「リプレイ」に、誤りがありました。取材させて頂いたフットサル愛好会の方のお名前は「飯田英晃さん」ではなく、正しくは「飯田晃英さん」でした。飯田さんおよび、関係者の方々に深くお詫びすると共に、訂正致します。

デスクの片隅

編集長の密かな楽しみの一つ。それは、全記事を発行前に誰よりも早く読めることである▼何回もの手直しを経て私の元に届く記事。書くにあたって選ばれた一言一言には書き手の想いが込められている。無駄のないすっきりとした表現、語句を巧みに使ったユニークな言い回し、そして思わず胸が熱くなるような情景描写。どれも個性的で、まるでその人自身を表しているようだ。毎号誰からどのような記事が仕上がってくるのか楽しみだった。きっと編集長を務めていなければ、この楽しみに気づくこともなかっただろう▼編集長を務めるまで、私は編集作業において役職についていなかった。そのため編集作業はもちろん、運営面でもわからないことが多く、すべてにおいて不安だった。しかし、その私がこのような「楽しみ」を見つけ、不安を打ち消せるくらい編集長という立場を楽しめた。それは紛れもなく一緒に活動し、編集長任期中に私を支えてくれた大学新聞社の皆のおかげである。みんなに心から感謝の気持ちを込めて。本当にありがとう。（蓮）

イタリア料理店　Caffé D310　学習院大学前デサントビル/スポーツガーデン D310 隣り
Tel　3971―4206

15 名様から プチパーティコース　☆ 学習院大学生の方は10%OFF！☆　(25 名様からは貸切可能)
1,700 円 - 2,700 円 - 3,700 円(おひとり・税込)
フリードリンク　1100 円コース・・・ワイン・ビール・オレンジジュース・ウーロン茶
500 円コース・・・オレンジジュース、グレープフルーツジュース限定量/ウーロン茶飲み放題

ヘルシーカレー ＆ フラッペ　☆学習院大学生の方は、50円引き！☆
カフェテラスでどうぞ。
ヘルシーカレー
平日 a.m. 11:30 ～ p.m. 2:00
1日30食限り
¥550(お持ち帰りできます)
ジェラートセット ¥700
フラッペ　¥630
かき氷にトッピング
夏みかんタイプ
夏みかん入りゼリーとラズベリーソース
ぶどうタイプ
ぶどう入りゼリーと生クリーム
http://members.jcom.home.ne.jp/kenji 1955/

STAR★
COMMUNICATIONS
カフェや自宅、
先生の家で習う
マンツーマン英会話
レッスン

STARはプライベートレッスンを強く推奨します。 グループレッスンに比べ英語によるコミュニケーションの密度が圧倒的に高く ,非常に早くレッスンの効果があらわれます。

STARの講師は
すべてネイティブ講師！
大学の先生
大手スクールの先生
企業研修に招かれる先生
小学校、中学校、高校の先生

ネットで,お気に入りの
英会話講師を探そう！
http://www.1star.biz
お問い合わせはこちら
TEL:03―5954―1520
(受付時間:10:00―18:00)
FAX:03―5954―1423
Email:info@1star.biz

講師の経歴から選べる　画期的なシステム
STARでは,大学、大手スクール、企業研修、小学校、中学校、高校等で活躍されている ネイティブ講師 による, プライベートレッスン が受けられます。弊社ホームページより,500人以上の講師のプロフィールから,お選びいただけます。

大変リーズナブルなレッスン料金と完全後払い
一般の英会話スクールでは1レッスン8,000円～10,000円もするプライベートレッスンがSTARなら半額以下の 2,500円から受けられます。はじめに何十万という 高額なローンを組んだり、初期投資が必要なレッスンチケットをまとめ買いする必要はありません。毎回レッスン後に講師に直接レッスン料を支払っていただきますので無駄な出費は一切発生せず、生徒にとって最も負担が少ない「毎回払い」 の料金システムを採用しております。

無理なく続けられる自由なレッスンスタイル
STARのレッスンは生徒様が 講師と直接相談 して次回のレッスンを決めていただくため、一人一人の スケジュールに応じた レッスンを設定する事ができます。また、場所についても講師の自宅や生徒様の自宅、もしくはカフェなど、 お好きな場所で レッスンを行なう事ができるので、 生徒様の都合に合わせて自由に変更 することができ、仕事などでお忙しい方も無理なく継続してレッスンを受けていただくことができる仕組みになっています。